

750号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館 5 階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@kensu.jp

ホームページ http://www.kensu.jp/

全国検数労働組合連合
書記局

全国 検数労連

11月16日(木) 14:00~14:30 検数労連 第3回 23冬季一時金交渉
業績による地域間格差反対!

両協会は従業員の生活に則した有額回答の構築を!

11月16日(木) 第3回検数労連23冬季一時金交渉で、組合は両協会に対し23年上期収支状況、今冬季一時金支給に対する考え方等を求め、交渉を行いました。

《全日検》

全日検を取り巻く環境について、中国経済の失速やロシアのウクライナ侵攻、半導体不足等の外部的要因を受け、上半期直近である10月の収入も対予算比でマイナスとなっている。また前年度比でもマイナスとなっている。この厳しい状況が続いている。

通年課題として取り組んでいるパートナードシップにおける料金収受については、料金改訂に向け一定の成果を挙げてきているものの全体的な落ち込みをカバーできていないのが現状である。

このような状況下ではあるが、労組要求に応えるべく乗率を重視した回答を構築する考えである。回答方式の詳細等についてはこれから行う機関会議で決定していくが、労組要求でもある有額回答指定日には回答していくよう検討を重ねている最中である。

《日検協会》

23冬季賞与の算定基準に当たる上期の収支状況について、業界紙の報道でもあ

るように、邦船三社が減収となつていなかで、日検協会を取り巻く環境も厳しいものとなっている。

自動車関係と鉄鋼関係は従来に比べ回復傾向となっているものの、その他コンテナ関係等が回復しておらず、いくつかの支部で計画比未達となっており、その中でも赤字となっている支部もある。そのような状況下で、従業員の日ごろの努力に報いるよう回答を構築している最中ではあるが、この間、比較的好調に推移している支部と低調な支部がある中で、どのように支給バランスを取って行けば良いのかという面で苦慮している。



【組合主張】

パートナードシップにおける料金改定については、これまでの港湾産別春闘でも目玉となつてきた政策であり、今後も継続した要求となり

うることから、両協会の料金改定に向けた達成率などの現状を労使共有化する必要がある。よって企業内労使間での情報の共有化を求める。

自動車や鉄鋼関係が好調に推移している一方で、その他の貨物が低調に推移して、支部間格差が出ているとのことだが、外部的要因による業績での支部間格差回答は容認できない。物価高やエネルギーの高騰で生活がひっ迫しているなかで、必要なのは組合要求に沿った内容での回答構築であることを強く主張する。

今冬季一時金でも我々は両協会が働く従業員の『生活防衛』を前面にした要求を提出し、たかまつている。

両協会の現状の厳しさは外部的要因に大きく左右され、厳しい状況下にあるといことは一定理解している。しかし、我々の生活も同じく外部的要因に大きく左右され、依然として厳しい状況下にある。そのような中で、両協会には厳しくも一定の努力をしてもらい要求に沿った回答を提示してもらわないと、退職者が増やす動きが来てしまう。このような事態を阻止するためにも、有額回答指定日には業績による地域間格差のない回答提示を求める。

日検協会は従来から一時金を『賞与』としているが、

『賞与』とは企業業績による利益配分の意味が色濃く、組合が従来から主張している『生活賃金の後払い』との乖離があり、馴染まない。

△全国港湾

中央行動開催▽

11月14日・15日に全国港湾の中央行動が開催され、全国からたくさんの方々が参加し、港湾労働に関係する各官庁(国交省・厚労省等)との行政交渉と、東京丸の内オアイス街から大手町の経団連前までのデモ行進を行いました。

14日の行政交渉では港湾で抱えている問題(人手不足・労働条件整備・賃金向上)などについて協議し、問題を解決するよう求めました。

15日のデモ行進は新型コロナウイルスの影響で2019年を最後に中断していましたが、今回4年ぶりに開催し、プラカードを持ちながら『港湾利用者は巨大な利益を港湾に還元せよ』『適正な作業料金を支払え』『作業料金ダンピングを許すな』などのシュプレヒコールをあげながら行進しました。

検数労連からも中執を含め、各地域港湾労組の事務局として参加した地域労連・支部委員長などが、それぞれの港の現状などを行政交渉やデモ行進で訴えました。



次回交渉 11月24日(金) 10:30~
第4回 検数労連23冬季一時金交渉(有額回答指定日)
次回交渉では、両協会より有額回答が提示される予定です。
各地域組合員および闘争委員会は次回交渉に注目!